

**製品名: Smo ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18026**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	86kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SMO
別名	SMO; SMOH; Smoothened homolog; SMO; Protein Gx
遺伝子 ID	6608.0
SwissProt ID	Q99835
免疫原	抗血清はヒト SMO 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 68-117

**背景**

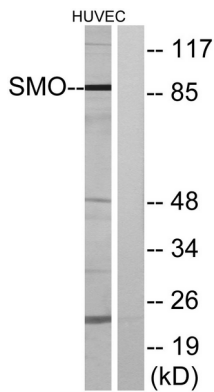
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、G タンパク質共役受容体であり、ヘッジホッグタンパク質の受容体であるパッチドタンパク質と相互作用する。コードされるタンパク質は、ヘッジホッグタンパク質 / パッチドタンパク質複合体によって活性化され

その後、他のタンパク質にシグナルを伝達する。[RefSeq 提供、2010年7月]、疾患：SMOの欠陥は基底細胞癌（BCC）に關与している。機能：Gタンパク質共役受容体であり、パッチドタンパク質（PTCH）と会合してヘッジホッグタンパク質のシグナルを伝達すると考えられる。ソニックヘッジホッグ（SHH）がその受容体であるパッチドに結合することで、パッチドまたはスモースンド（SMO）による正常な抑制が阻害されると考えられている。類似性：Gタンパク質共役受容体 Fz/Smo ファミリーに属する。類似性：1つのFZ（フリズルド）ドメインを含む。

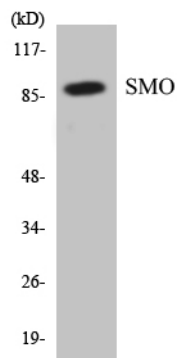
## 研究分野

ヘッジホッグ;がんの経路;基底細胞癌;

## 画像データ



SMO抗体を用いたHUVEC細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



SMO抗体を使用したHepG2細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。